

二松学舎大学 ニュース IR

News IR

IR (Institutional Reserch インスティテューショナル・リサーチ)とは、教育、研究、財務等に関する大学の活動についてのデータを収集・分析し、大学の意思決定を支援するための調査研究のことをいいます。本学では、大学改革・IR推進課において、様々な教学データ（学生アンケートの結果や学生の学修成果をはじめとする教育研究に関する各種データ）を収集・分析し、各種教学事項の改善や各部門への大学運営に資するデータの提供を行っています。

2026年度 1号 (NO.21)

Contents

◆ PROGテストの実施について	1
◆ PROGテスト測定結果概要について	2
◆ PROGテストスコア詳細	3
◆ 3年次生の受験結果からみる入学時点からの変化について	5
◆ まとめ・二松学舎憲章	7

◆PROGテストの実施について

本学では2017年度から、社会に求められる汎用的な能力・態度・志向（以下、ジェネリックスキル）を測定し、育成するためのプログラム『PROG』を導入しており、毎年1・3年次生を受験対象としています。『PROG』ではジェネリックスキルを「リテラシー」と「コンピテンシー」の両面から測定し数値化しています。本学では『PROG』の結果を学生の傾向の把握や教育課程改善のための参考にしています。

リテラシーとは、知識を元に問題解決にあたる力です。PROGテストでは、知識を活用し問題を解決する能力であるリテラシーを「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」という、問題解決のプロセスに不可欠な「4つの力」で測定・評価します。

コンピテンシーとは、取り巻く環境に実践的に対処する力です。PROGテストでは、自分を取り巻く環境に働きかけ対処する力であるコンピテンシーを「対人基礎力」「對自己基礎力」「対課題基礎力」の3領域に分け、客観的な評価が取得可能な手法を用い、測定・評価をします。

リテラシー	4つの力	情報収集力 情報分析力 課題発見力 構想力		
	処理能力	言語処理能力 非言語処理能力		
コンピテンシー	3つの力	対人基礎力	9つの要素	親和力 協働力 統率力
		對自己基礎力		感情抑制力 自信創出力 行動持続力
		対課題基礎力		課題発見力 計画立案力 実践力

本号では2026年度と2025年度の結果を掲載します。2026年度は4月7日（火）～4月27日（月）、2025年度は4月8日（火）～5月14日（水）にweb形式で実施しました。

【受験者数・受験率】

2026年度調査

学部	学年	受験者（受験率）	対象者数	在籍者数
文	1年	467 (91.9%)	508	512
国際政治経済	1年	237 (89.8%)	264	264
文	3年	323 (69.2%)	467	478
国際政治経済	3年	118 (43.4%)	272	277
合計		1,145 (75.8%)	1,511	1,531

2025年度調査

学部	学年	受験者（受験率）	対象者数	在籍者数
文	1年	438 (85.2%)	514	519
国際政治経済	1年	231 (78.8%)	293	296
文	3年	352 (70.8%)	497	503
国際政治経済	3年	140 (52.8%)	265	265
合計		1,161 (74.0%)	1,569	1,583

◆PROGテスト測定結果概要について

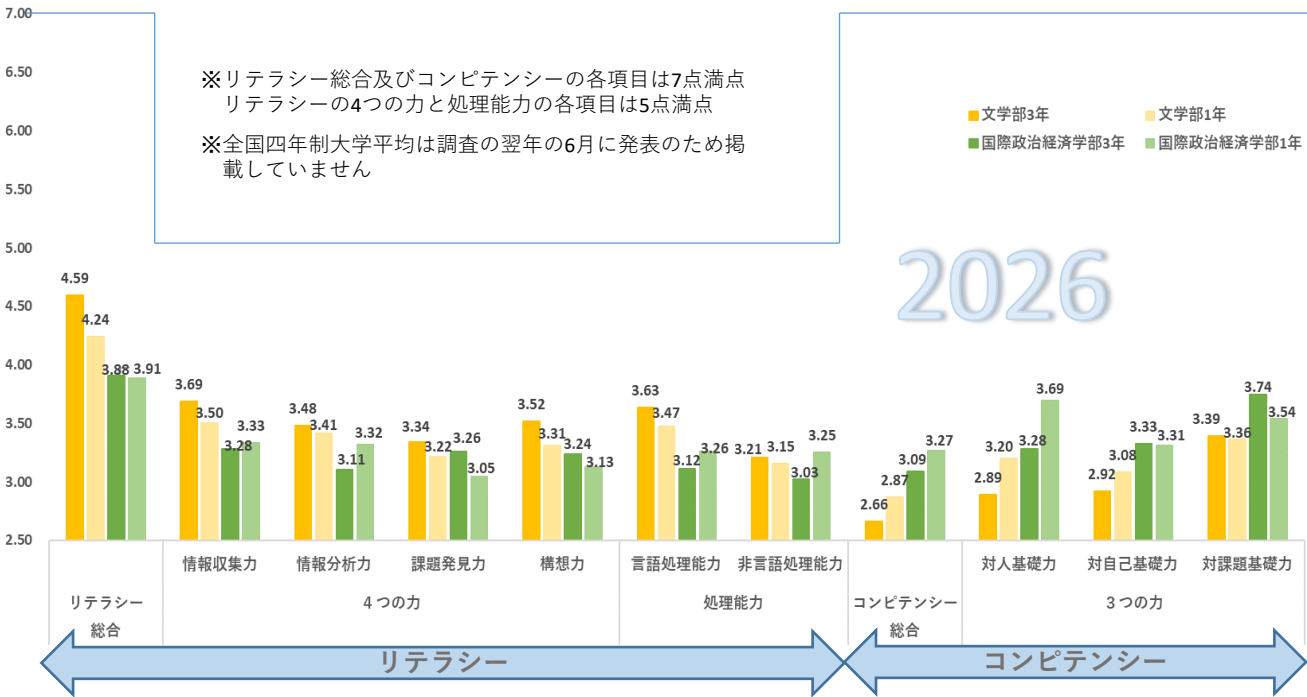
《学年・学部別スコアの概要》

2026年度調査、2025年度調査の「リテラシー」領域、「コンピテンシー」領域の項目を学年・学部毎にグラフで示しました。2025年度調査では全国四年制大学文系の平均も示しています（全国平均は翌年の6月に発表されるため、2026年度調査では示していません）。

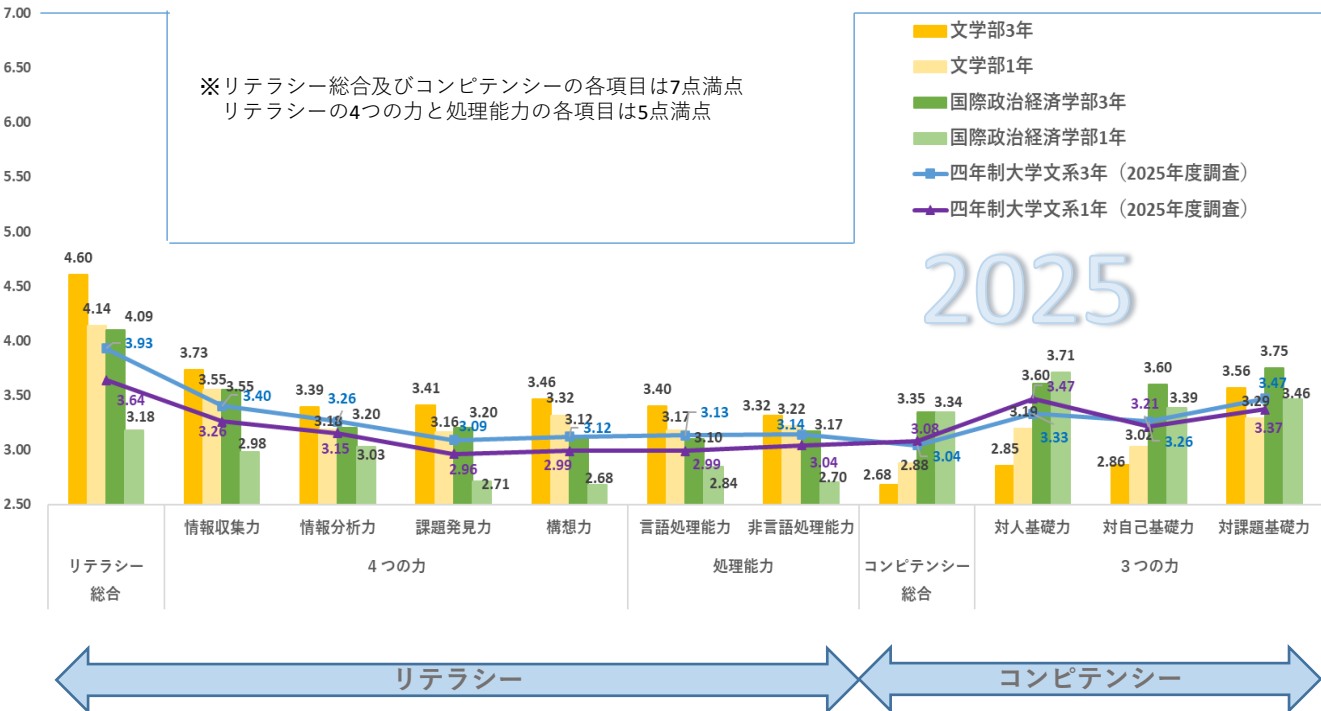
文学部はリテラシーは全国平均を上回り、コンピテンシーは平均を下回っています。国際政治経済はリテラシーは平均を下回り、コンピテンシーは全国平均を上回っています。国際政治経済学部1年次生のスコアが2026年度は2025年度と比べると高い傾向にあります。

※平均スコアの適性化のため、以降の頁も含め「不適切な目受験」による回答は除外しています（P7参照）

2026年度調査



2025年度調査【付 全国平均】



《2026年度調査結果全学部》

リテラシー領域

コンピテンシー領域【大分類】

	リテラシー 総合	4つの力				処理能力	
		情報 収集力	情報 分析力	課題 発見力	構想 力	言語 処理能力	非 言語 処理能力
		5段階					
文学部3年	4.59	3.69	3.48	3.34	3.52	3.63	3.21
文学部1年	4.24	3.50	3.41	3.22	3.31	3.47	3.15
国際政治経済学部3年	3.91	3.28	3.11	3.26	3.24	3.12	3.03
国際政治経済学部1年	3.88	3.33	3.32	3.05	3.13	3.26	3.25

	コンピテンシー 総合	3つの力		
		対人基礎 力	対自己基礎 力	対課題基礎 力
		7段階		
文学部3年	2.66	2.89	2.92	3.39
文学部1年	2.87	3.20	3.08	3.36
国際政治経済学部3年	3.09	3.28	3.33	3.74
国際政治経済学部1年	3.27	3.69	3.31	3.54

コンピテンシー領域【中分類】

※コンピテンシー大分類「3つの力」は中分類「9つの要素」から成り立っています

	9つの要素								
	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
	親和 力	協働 力	統率 力	感情制 御力	自信創 出力	行動持 続力	課題発 見力	計画立 案力	実践 力
文学部3年	3.23	2.85	2.81	2.95	2.93	2.90	3.39	3.32	3.56
文学部1年	3.58	3.19	3.05	3.05	2.99	3.22	3.50	3.18	3.49
国際政治経済学部3年	3.57	3.19	3.22	3.29	3.17	3.33	3.71	3.65	3.67
国際政治経済学部1年	3.89	3.65	3.57	3.36	3.15	3.46	3.70	3.41	3.50



2026年度
調査結果

二松学舎公式キャラクター
ねこ松®

コンピテンシー領域【小分類】

※コンピテンシー中分類「9つの要素」はさらに小分類「33の詳細要素」から成り立っています

	33の詳細要素																	
	親和力						協働力						統率力				感情制御力	
	やさしさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解・連携行動	情報共有	相互支援	相対者の動機づけ	話し合う	主張する	意見を	創造的な討議	建設的な討議	意見の調整、交渉、説得	アウェアネス	セルフアウェアネス
文学部3年	2.54	2.74	3.09	3.74	2.10	3.20	2.51	2.25	2.79	2.13	2.18	2.34	2.39	2.23	3.56	2.69	2.16	2.16
文学部1年	2.80	2.81	3.22	3.43	2.48	3.09	2.78	2.48	2.75	2.39	2.39	2.52	2.45	2.45	3.43	2.66	2.30	2.30
国際政治経済学部3年	2.55	2.80	3.25	3.33	2.65	3.16	2.81	2.38	2.84	2.43	2.65	2.70	2.46	2.49	3.32	2.85	2.44	2.44
国際政治経済学部1年	2.94	2.89	3.26	3.21	2.90	3.18	3.23	2.61	3.09	2.57	2.68	2.81	2.68	2.78	3.44	2.85	2.57	2.57

	33の詳細要素														
	自信創出力			行動持続力			課題発見力			計画立案力			実践力		
	独自性理解	自己効力感／楽観性	学習視点・機会による自己変革	主体的行動	完遂	良い習慣化行動	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正／調整
文学部3年	2.49	2.25	2.53	2.14	2.40	3.09	2.59	2.49	3.17	2.31	2.55	2.62	2.76	2.53	2.54
文学部1年	2.54	2.30	2.48	2.31	2.72	3.16	2.82	2.49	3.16	2.46	2.44	2.65	2.55	2.61	2.51
国際政治経済学部3年	2.56	2.56	2.48	2.35	2.70	2.88	2.92	2.79	2.79	2.63	2.74	2.85	2.88	2.65	2.76
国際政治経済学部1年	2.48	2.56	2.27	2.44	3.06	3.29	2.89	2.76	2.86	2.90	2.63	2.66	2.59	2.70	2.48

◆PROGテスト スコア詳細

《2025年度調査結果全学部 【付 全国平均】 》

リテラシー領域

	リテラシー 総合	4つの力				処理能力	
		情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力
		7点満点					
文学部3年	4.60	3.73	3.39	3.41	3.46	3.40	3.32
文学部1年	4.14	3.55	3.18	3.16	3.32	3.17	3.22
国際政治経済学部3年	4.09	3.55	3.20	3.20	3.12	3.10	3.17
国際政治経済学部1年	3.18	2.98	3.03	2.71	2.68	2.84	2.70
四年制大学文系1年	3.64	3.26	3.15	2.96	2.99	2.99	3.04
四年制大学文系3年	3.93	3.40	3.26	3.09	3.12	3.13	3.14

コンピテンシー領域【大分類】

	コンピテンシー 総合	3つの力		
		対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力
		7点満点		
文学部3年	2.68	2.85	2.86	3.56
文学部1年	2.88	3.19	3.02	3.29
国際政治経済学部3年	3.35	3.60	3.60	3.75
国際政治経済学部1年	3.34	3.71	3.39	3.46
四年制大学文系1年	3.08	3.47	3.21	3.37
四年制大学文系3年	3.04	3.33	3.26	3.47

コンピテンシー領域 【中分類】

※コンピテンシー大分類「3つの力」は中分類「9つの要素」から成り立っています

	9つの要素								
	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
	7点満点								
文学部3年	3.29	2.87	2.70	3.02	2.76	2.89	3.49	3.45	3.70
文学部1年	3.49	3.30	3.07	3.05	3.03	3.15	3.31	3.20	3.43
国際政治経済学部3年	3.81	3.54	3.63	3.60	3.51	3.62	3.75	3.57	3.83
国際政治経済学部1年	3.91	3.67	3.46	3.42	3.26	3.57	3.39	3.43	3.46
四年制大学文系1年	3.82	3.57	3.09	3.17	3.12	3.37	3.31	3.32	3.48
四年制大学文系3年	3.65	3.46	2.99	3.24	3.23	3.32	3.41	3.37	3.62



二松学舎公式キャラクター
ねこ松®

コンピテンシー領域 【小分類】

※コンピテンシー中分類「9つの要素」はさらに小分類「33の詳細要素」から成り立っています

	33の詳細要素															
	親和力						協働力				統率力				感情制御力	
	やさしさ	気配り	対人関係・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	連携行動	役割理解	情報共有	相互支援	相談・指導・助言の動機づけ	話し合う	主張する	意見を述べる	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス
	5点満点															
文学部3年	2.64	2.73	3.32	3.66	2.10	3.27	2.63	2.15	2.78	2.20	2.26	2.19	2.26	2.26	3.62	2.72
文学部1年	2.74	2.84	3.19	3.22	2.41	3.10	2.85	2.48	2.90	2.43	2.32	2.60	2.49	2.39	3.45	2.58
国際政治経済学部3年	2.89	2.78	3.10	3.58	2.79	3.23	2.96	2.76	2.71	2.62	2.73	2.74	2.80	2.63	3.51	2.90
国際政治経済学部1年	2.91	2.73	3.17	3.12	3.00	3.17	3.24	2.71	2.87	2.66	2.60	2.71	2.69	2.80	3.42	2.74
四年制大学文系1年	2.86	2.93	3.30	3.43	2.70	3.25	3.16	2.61	3.01	2.60	2.45	2.48	2.49	2.45	3.44	2.61
四年制大学文系3年	2.81	2.95	3.22	3.52	2.47	3.28	3.02	2.57	2.91	2.57	2.42	2.37	2.51	2.35	3.53	2.66

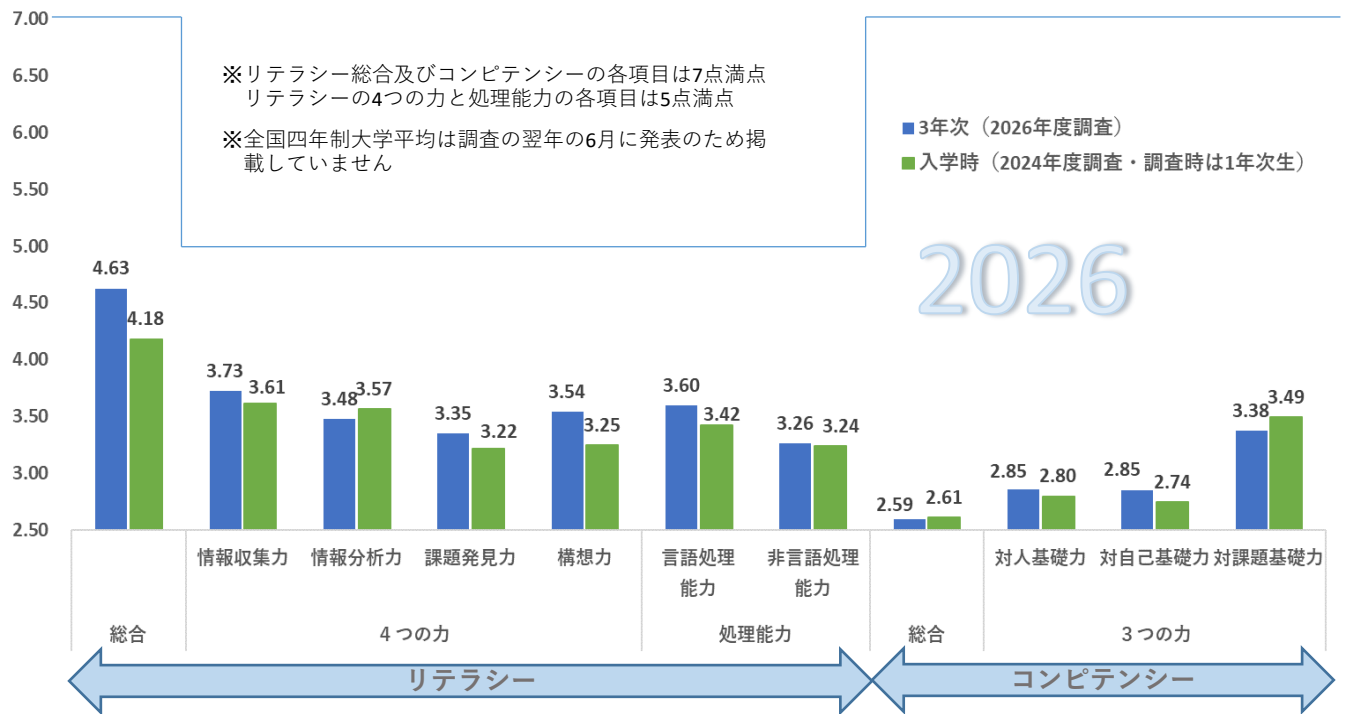
	33の詳細要素															
	自信創出力			行動持続力			課題発見力			計画立案力			実践力			
	独自性理解	楽観性	自己効力感	主体的行動	完遂	良い習慣化行動	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正／調整	検証／改善
	5点満点															
文学部3年	2.42	2.09	2.49	2.07	2.43	3.19	2.43	2.58	3.05	2.22	2.58	2.85	2.82	2.55	2.56	3.11
文学部1年	2.69	2.35	2.30	2.34	2.72	3.07	2.63	2.45	3.04	2.56	2.53	2.56	2.58	2.62	2.47	2.79
国際政治経済学部3年	2.79	2.81	2.50	2.83	2.76	3.11	2.82	2.71	2.89	2.69	2.75	2.76	2.63	2.82	2.51	3.30
国際政治経済学部1年	2.59	2.66	2.37	2.58	2.74	3.05	2.76	2.52	2.77	2.63	2.67	2.58	2.65	2.70	2.54	2.80
四年制大学文系1年	2.54	2.50	2.33	2.42	2.75	3.11	2.73	2.43	2.87	2.60	2.59	2.66	2.59	2.62	2.55	2.85
四年制大学文系3年	2.64	2.53	2.46	2.39	2.62	3.11	2.67	2.53	2.82	2.41	2.58	2.70	2.69	2.63	2.61	3.02

◆3年次生の受験結果からみる入学時点からの変化について

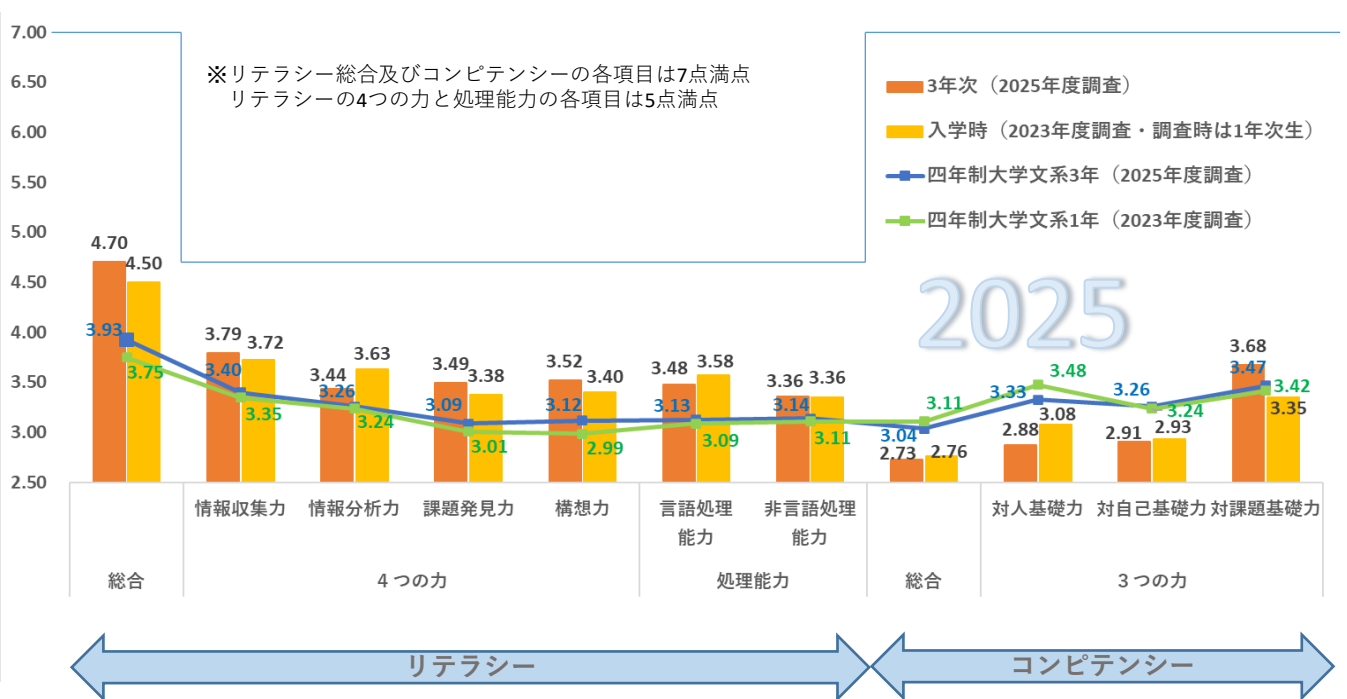
《文学部》

文学部生のスコアが入学時から3年次の2年間でどのように変化したかをグラフに示しました。
リテラシーについては、2026年度調査・2025年度調査とも、総合評価である「総合」のスコアが伸びており、本学における学修で各種能力を向上させたことがうかがえます。一方、コンピテンシーは2026年度調査・2025年度調査とも、「総合」のスコアが入学時よりも3年次のほうが低いマイナス伸長が発生しています。コンピテンシーにおけるこうした現象は、実際に能力が下がってしまったというわけではなく、経験を積んだことで自己をより客観的・謙虚に把握することができるようになり、そのぶん自己評価が下がることが原因の一つとされています。2025年度調査では全国平均との比較が可能ですが、全国平均も同傾向でリテラシースコアはプラスに変化し、コンピテンシーはマイナスに変化しています。

2026年度調査（3年次生の入学時からの比較 文学部）



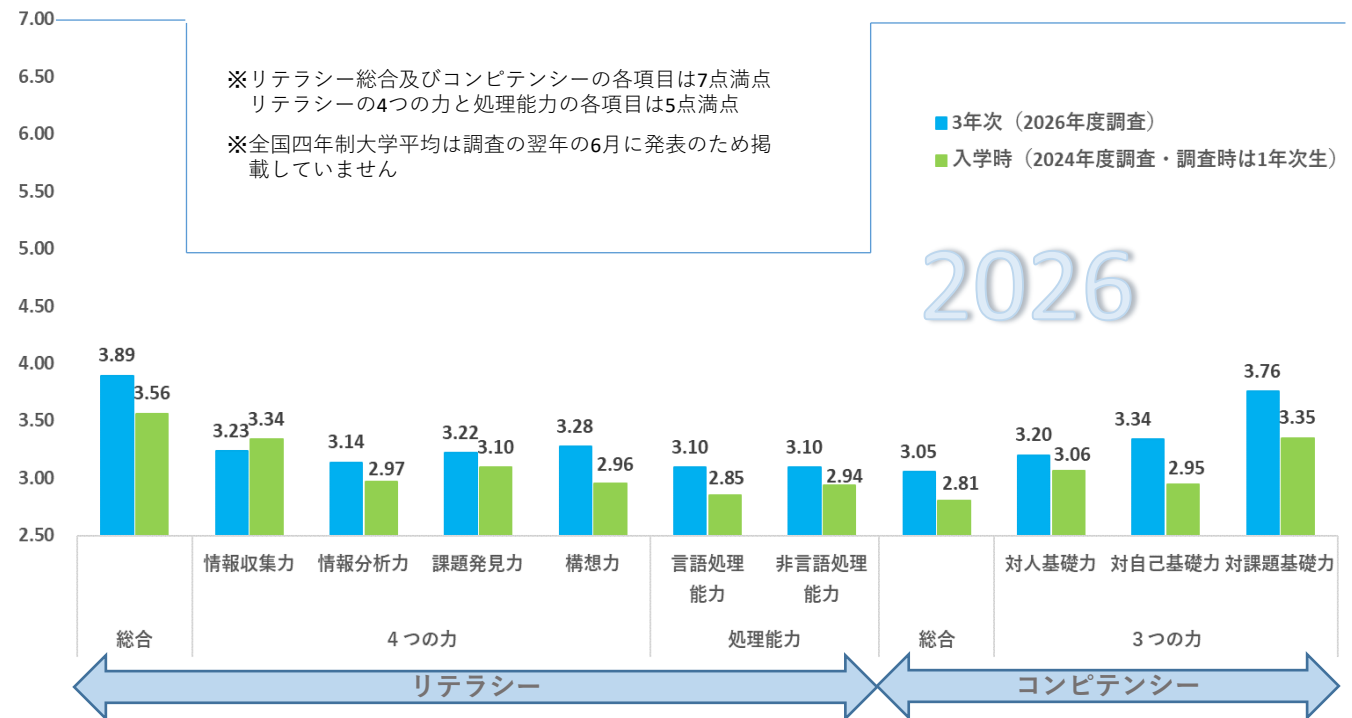
2025年度調査（3年次生の入学時からの比較 文学部）【付 全国平均】



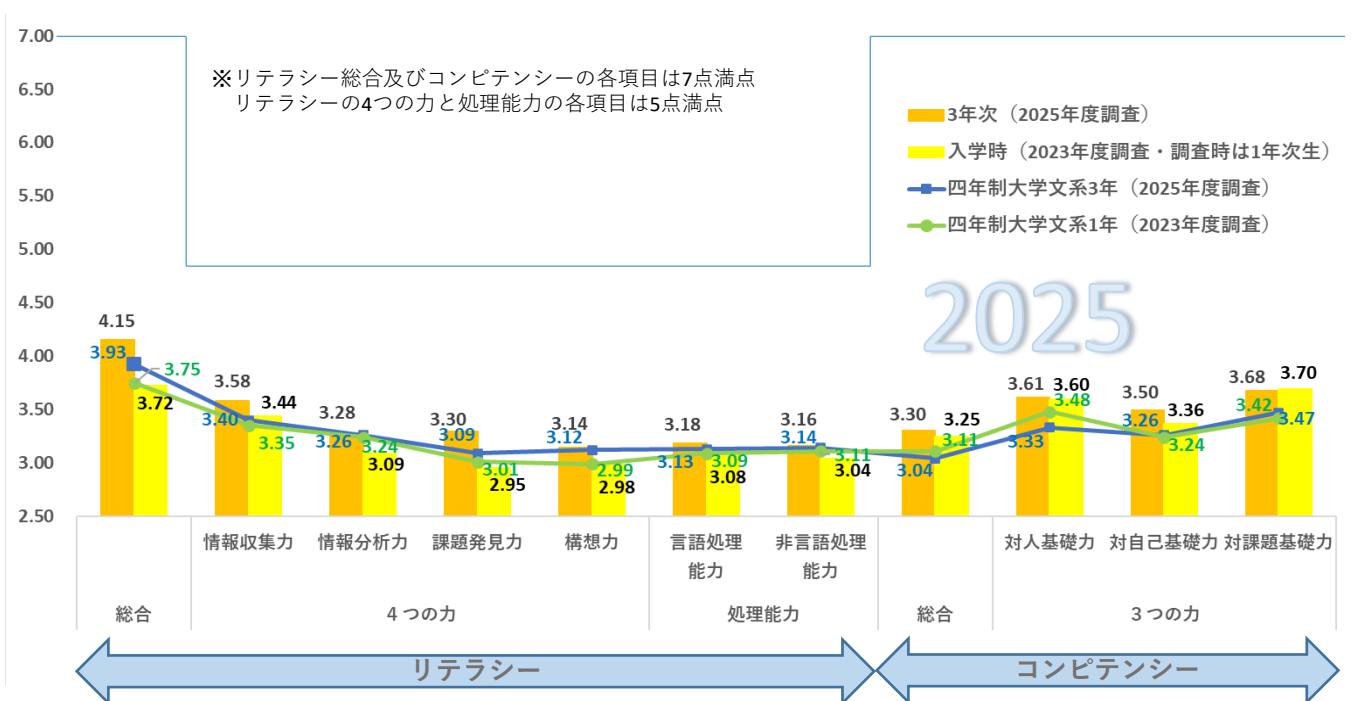
<<国際政治経済学部>>

国際政治経済学部生のスコアが入学時から3年次の2年間でどのように変化したかをグラフに示しました。リテラシー・コンピテンシーともに、2026年度調査・2025年度調査の両調査において、総合評価である「総合」のスコアが伸びており、本学における学修で各種能力を向上させたことがうかがえます。なお、2026年度調査と2025年度調査を比較すると、全体的に2025年度調査のほうが高スコアであり、入学年度による違いがみられます。今後、当時の入学試験の結果や入学後のGPAを使って両者の比較分析を行う予定です。

2026年度調査（3年次生の入学時との比較 国際政治経済学部）



2025年度調査（3年次生の入学時との比較 国際政治経済学部）【付 全国平均】



※平均スコアの適正化のための「不適切な目受験」の除外とは……

「不適切な受験」とは、学生が自身の本来持っている考えや能力とは異なる回答をあえてしていることがあきらかな場合（たとえば、全ての設問で「1」を選択して回答するなど）や、全ての設問に回答せず途中で受験放棄してしまった場合のことを言います。平均スコアを算出する場合、これら不適切な受験の回答を含めしまうと本来の実態とはかけ離れてしまい、特に人数の少ない学部ではその影響が顕著となります。

このため、『NewsIR』では、平均スコアの算出にあたって不適切な受験の回答は除外しています。

（なお、受験者数・受験率では悪影響が出ないため不適切な受験の人数を含んでいます）

《まとめ》

- 例年の傾向と同様ですが、**2025年度調査・2026年度調査**においても文学部はリテラシーのスコアが高く、国際政治経済学部はコンピテンシーのスコアが高い傾向にあります。
- **2025年度調査と2023年度調査との比較・2026年度調査と2024年度調査との比較**において、入学時から3年次の2年間でスコアがどのように変化したかを見ると、文学部・国際政治経済学部ともにリテラシー「総合」のスコアが伸長しており、本学での学修で着実に能力を身に着けたことがうかがえます。特に国際政治経済学部は**2023年度**の入学時点でリテラシー「総合」のスコアが全国平均以下だったのに対し、**2025年度調査**では全国平均を上回る伸びを見せました。
- リテラシー・コンピテンシーは、日々の学生生活や学修に意識的に取り組むことで伸ばすことが可能であり、比較的にコンピテンシーは伸ばしやすいといわれています。コンピテンシーが低い傾向にある文学部はゼミナールや演習の授業において、コミュニケーション力を向上させる工夫が必要と考えられます。

二松学舎大学では、学生のさらなる成長に寄与するため、授業をはじめとし、学生支援体制や課外活動をより充実させ、これらの機会を創出していきます。

【二松学舎憲章】

<建学の精神の発揚>

- ・教職員は、建学の精神「東洋の精神による人格の陶冶」、「己ヲ修メ人ヲ治メ一世ニ有用ナル人物ヲ養成ス」の発揚に努めます。

<教育・研究の目標達成>

- ・人材育成のため、自らその体现者となるべく、自己研鑽に努めます。
- ・法令及び学則を順守し、道德心と倫理観を持ち、職務に当たります。
- ・現状を把握し、自ら課題を見つけ、教育・研究の質の向上に努めます。

<学生生徒支援>

- ・教職員一人一人が、学生生徒の人格と人権を尊重します。
- ・教育・研究の充実に常に努め、教育・研究環境の整備を行い、学生生徒の満足度向上を目指します。

<社会貢献>

- ・教育・研究活動を通じて、地域社会への貢献に努めます。
- ・社会情勢に常に目を向け、国際社会と世界平和に寄与します。

【発行主体】

二松学舎大学

大学改革推進部 大学改革・IR推進課

〒102-8336 東京都千代田区三番町6番地16

TEL (03)3261-1285

FAX (03)3261-7413

[E-mail] gakumu@nishogakusha-u.ac.jp